

【あらすじ】「リクルート・ハント」

本記事では、公開予定作品のあらすじをご紹介します。

今回は、臭い責め中心のストーリーとなります。(くすぐり描写少なめ)

※FF / M 作品となります。

※臭い責め、足舐め

是非、お楽しみくださいね！

登場人物：

白石サヤ

- 年齢：22歳（就活中の大学4年生）
- 性格：
冷静沈着で頭の回転が速く、計算高い。
ターゲットを観察し、最も効果的に追い詰める方法を瞬時に見抜く鋭さを持つ。Sっ気が強く、責める時は容赦なく、しかし感情的には波が少ないクールなタイプ。
- 外見：
リクルートスーツを完璧に着こなし、清潔感と凛とした美しさを兼ね備えている。瞳は冷たく鋭く、口元には時折薄く嘲笑が漂う。
- 役割：
計画と指揮を担当し、主に言葉や心理的圧力を駆使してターゲットを追い詰める。足を使った責めも的確に行うが、主に狩りのリーダー的存在。
- 背景：
就活ストレスを抱えながらも、その不満と鬱憤をターゲットへの支配欲に昇華させている。表面上は真面目で礼儀正しいが、裏の顔は冷酷な狩人。

綾瀬ミナ

- 年齢：21歳（同じく就活中の大学4年生）
- 性格：
サヤよりも感情表現が豊かで、いたずら好き。
Sっ気はサヤに劣らず強いが、どこか茶目っ気があり、責める際の楽しみを全面に出すタイプ。冗談めかしてターゲットを挑発し、屈辱感をあおるのが得意。
- 外見：
サヤよりもやや柔らかい印象で、愛嬌のある顔立ち。リクルートスーツもどこか華やかさがあり、笑うと親しみやすさを感じさせる。
- 役割：
責めの実践者であり、足技を中心にターゲットをじわじわ追い詰める。サヤの指揮のもと、戦術的に動くサポート役。時折独自の遊び心でターゲットを混乱させる。
- 背景：
サヤとは違い、表向きは明るくフレンドリーな性格だが、内面には強い支配欲が隠れている。サヤとのコンビネーションで、狩りの効率を高めている。

本編あらすじ

第1章：狩り

サヤとミナは、夕方の街をリクルートスーツ姿で歩きながら、今日の“獲物”を探している。就活の苛立ちと鬱憤を晴らすため、リアクションが良さそうで気弱な男性を物色。二

人は周囲を観察し、どうやってターゲットに因縁をつけて責めるかを話し合いながら、狙いを定めていく。

第2章：口実

ターゲットにわざとぶつかって言いがかりをつけるサヤとミナ。気弱なターゲットは動揺し、言葉を詰まらせる。女子たちは「警察に言わないであげる」という口実でターゲットを追い詰め、強引に漫画喫茶の個室へ誘い込む。

Sっ気をちらつかせながら、ターゲットの抵抗心をくじいていく。

第3章：密室

狭い個室に閉じ込められたターゲットは逃げ場がなく、二人の冷たい視線に晒される。サヤとミナは足を使った責めを開始。ムしたパンストや汗ばんだ足の匂いがターゲットの鼻を刺激し、精神的にも追い詰められていき、じわじわと屈辱が増していく。

第4章：侵食

攻撃はさらにエスカレート。足の匂いや舐める行為を交えながら、ターゲットの心は完全に支配されていく。無抵抗になるまで責め続ける女子二人のSっ気が全開に。

第5章：日常

ターゲットを解放したサヤとミナは達成感を感じながらも、すぐに次の“獲物”を探すために街へ戻る。日常の中でターゲットを狙いながら、二人の冷酷な狩りは終わらない。なんの変哲もない就活生という表の顔を装いながら、二人のSっ気あふれる日常は続いていく。